

東京集会実行委員会ニュース No.4 2016年1月発行

特別講座

(企画担当 鳩貝)

いよいよ集会案内も完成間近となって来ました！みなさんに今回もいち早く特別講座を紹介したいと思います！

No.2の紹介も合わせて御覧ください。

講座I 東京・多摩地域の自然(雑木林)

「原っぱの自然学」

講師:八王子市 長池公園自然館 園長 内野秀重さん

今回の会場一帯の多摩ニュータウンは、『平成狸合戦ぽんぽこ』の舞台になった場所で、長池公園は昔のため池を囲むよう小川や湿地、広大な雑木林を残した面積 20ha の自然保全型公園です。その中で、行っている雑木林の管理へのこだわりや、自然を子どもたちに残していくための活動などについてお話していただきます。

講座H 海外の保育

「一保育士の視点からみたアメリカの保育」

講師:米国 Harvard yard child care center

服部薫さん

Harvard 大学には6カ所の保育所があり、現在は6カ所の保育所の保育の質を保つために、服部さんはアドバイザーやサポートとして働かれています。そこでの高い保育料や、週2時間は保護者が保育に参加するよう求められることなど日本とは大きく違った部分があります。今回は、アメリカの保育から、自分たちの保育を見つめ直す機会を作りたいと思います。

講座J 人形づくり「身近な素材で人形をつくろう」

講師:早川百合子さん(人形劇団ブーク役者・演出)

人形劇団ブークは1929年(昭和4年)に創立された人形劇団で、日本だけでなく海外での上演や、テレビ・映画などに出演し、すべての人々の平和と幸せのために人形劇を創っています。今回は、そういった劇に込める思いを聞くとともに、人形を作り日頃の保育へ活かしていきたいと思います。

特別講座「平和」の講師が、元NHKプロデューサー、武蔵大学教授 永田浩三さん

に決まりました。昨今、目まぐるしい世界情勢の変化に伴い、私たちは何を見つめ、信じていけばよいのでしょうか？報道の立場から「現代と平和」について語っていただきます。

事務局次長 富岡恵が語る

東京集会

果たしてどのように東京集会は作られているのか。開催年である2016年になった今、探っていきたいと思います。執筆は、集会準備の中心となり動いてきた事務局次長の富岡さんです。そこにはどんな思いが込められているのでしょうか・・・



東京集会まで残すところ半年。これまでを少し振り返ってみます。

東京保問研にとって、手と手をぎゅっとつなぎたい関係に【前東京集会を経験した世代と知らない世代】があります。保問研の学びや考えを引き継ぐためです。とはいえ、東京集会を引き受けた2年前頃、私も含め前の集会を知らない世代にとって集会開催は未知の世界。どこか他人事だったようにも思います。まずは「若者の会、(実行委員会準備会)を開き、若い世代で自由に集会のイメージを膨らませることから始めました。「実行委員はスタイリッシュにポロシャツで♪」等、この頃の案が実現したものもあります。

そして今、若者の会に参加していたメンバーが集会事務局や各係のチーフのほとんどの役割を担い、実行委員会の柱だてや、各係の動きを共有・確認のため行う会議、通称「東京会議」も行っています。先輩たちは、大事な部分でしっかり意見をくれつつも、若い世代に役割を任せてくれています。色々な所で世代を超えて意見をぶつけあっては、わかりあい・・・を何度も繰り返し、ようやく集会までの道ができてきました。

現在、東京会議は15回、メーリングリストのやり取りは、まもなく1000通を超えます。若い世代も役割を持ち進めてきたことで、「東京集会を成功させたい」と今は自分たちの気持ちとして言えます。

世代・立場に関係なく意見を交わせる場が、確かに東京にはあります。全国集会に参加したことのない方、安心して東京に来てください。そして、全国の保問研の先輩方、これまでの全国集会のバトンを繋げているか、ぜひ確かめに来てください！お待ちしております。

東京集会事務局次長 富岡恵

東京集会初日に1回限りの緊急上映決定！！

あの「標的の村」から2年——スクリーンに叩きつける、伝えきれない沖縄



全国のみなさん、こんにちは。 東京集会事務局長の高見です。

今回は、「不特定の誰か」にではなく、今、このニュースを手にとって読んでくれている「あなた」に向かって、お知らせとお願いをしたく紙面を拝借しています。

タイトルにある通り、東京集会初日の6月3日（金）開会集会会場であるパルテノン多摩にてドキュメンタリー映画「戦場ぬ止み」の無料上映を18時から開催できる運びとなりました。この映画を観たことがありますか？

観たことがあっても、なくても、この保育問題研究会の全国集会でこの映画をあなたと共に鑑賞することに大きな意味を持つことと実は私は思っています。

東日本大震災が起きた時には、がんばろう日本！と至る所にのぼりや手書きのメッセージが掲げられていました。しかし、原発問題、基地移設問題に対してはどうでしょう？ 政治が絡むと意見を言いにくくなるのが実情なのでしょう。

昨年、民主主義をテーマにしたブックフェアを展開し、一斉に批判を浴びたジュンク堂書店のとある店舗の店長は「意見を表明しようと思ったら無傷ではいられない(中略)その覚悟は不可欠だと思う」と新聞のコラムに寄稿していました。

また、音楽家の大友良英さんは同じく新聞のコラムにて「『これを言ってはまずいよね』と空気を讀もうとすると、世の中はとんでもない方向に行く。空気を讀むと

は、他人の考えに委ね、自分は責任を取らず安全な場所にしようとする事だから」と寄稿していました。「*一部抜粋」

私はこれを読んで改めて思いました。保問研は戦前から今に至るまで「話しあう」ことが基本にあり、そこから「自分だったらどうする？」と思考し、そこからまた「話しあい」、「伝えあい」を続けてきていると。

全国集会に参加している皆さんもこの土台に立った上で保育について討議をし、日々の保育実践につなげてきていることと思います。保問研では意見を表明しても無傷、他人の考えに自分の考えを委ねない。これが脈々と受け継がれてきた精神の一つではないかと私は思います。

そんな仲間たちと一つの映画を観て、話しあいたい。今回でいうなら自分が基地のあるそばで暮らすこと、保育をする立場だったらどうする？ 何ができる？ と考えあいたいのです。意見が異なってもいい。とにかく「沖縄」について「あなた」と向き合いたい。あなたとあなたとあなたが参加してくれることで、「個人」は「みんな」に変化し、もしかしたら何かが生まれるかもしれない。キッカケとしてこの映画を是非、観て欲しい。

そして、もう一度、手と手をぎゅっとなぎあいたい「がんばろう日本」そして今、「一緒にがんばろう沖縄」。参加を心よりお待ちしております！！

映画についての詳しい情報、内容、予告については公式サイト (www.ikusaba.com)をご覧ください。

スカイツリーだけじゃない！ TOKYOはこんなところ！

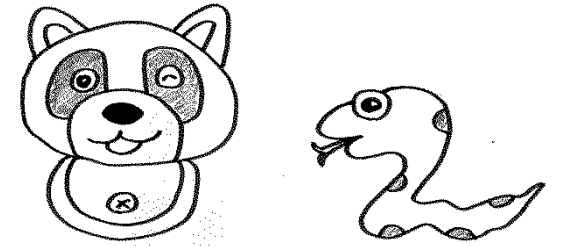
その③南大沢（会場 首都大学東京周辺）

私は首都大学東京南大沢キャンパスで学生時代を過ごしました。自然に囲まれ、開放感のある大学の環境が私は大好きでした。

南大沢キャンパス周辺は味わいのある散歩道がいっぱいです。正門の前に立ち、右手にある道を行くと、緑道が続きます。木漏れ日や鳥の声を感じながらも、曲がってすぐの木の間から町の景色が一望できます。キャンパス内にも隠れた素敵な道がたくさんあるので、探してみてくださいね。また、大学からは少し歩きますが、特別講座でも取り上げられている長池公園は特におすすめです！ 考え事をしたり、何も考えずにぼんやりと歩いたり……。学びの後や合間に、是非キャンパス内や周辺を散策してみてください。運が良ければ野生のヘビやタヌキに出会えるかも？！

そして、正門を入れてしばらく進むと左手に空の目門（まど）があります。奥には芝生が広がっており、晴れた日には寝転んだりお弁当を食べたりできるので、息を抜きに足を運んでみてください！

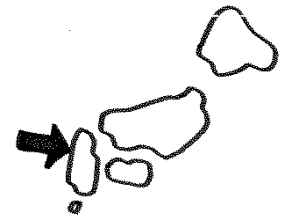
（豊川保育園 森）



連載

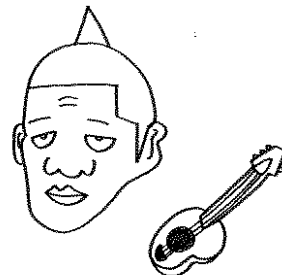
東京集会で

会いましょう！

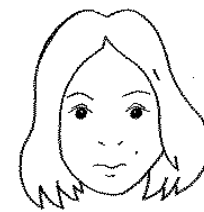


現在、私は東京の北区で働いていますが、実は九州の佐賀県出身です！ 私の出身地の近くには呼子という所があり、そこはイカが有名でとても新鮮なイカ料理が食べられ、刺身なんかはもう最高です！ 東京と地元で一番違いを感じたのは、やはり電車の路線の数です。地元は1、2本なのですが東京では数え切れず(笑)こっちの「どこに住んでるの？ 何線沿い？」という話題についていけるようになったのはつい最近です(笑)。東京の良さと言えば、やはり全国から様々な人が集まることでしょうか。色んな境遇の人との出会いがあり、色んな人と話すで自分の考え方や視野も広がりますね。おいしい食べ物もたくさんありますよ。東京で行われる全国集会です。九州はもちろん、各地方の皆さんもぜひ東京集会に参加しましょう！！

（クラブ保育園 山下）



SAGAと言えばこの人！？



松雪 奏子も佐賀..